

Title	昭和三十三年度史學科春季見學旅行；第六回早慶連合史學會；三田史學會例會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1959
Jtitle	史学 Vol.32, No.1 (1959. 4) ,p.122- 125
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19590400-0122

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

別個の問題である筈である。

以上蕪雜な言を連ねたこと、御寛容願ひたいが、本書が全體としての纏まりをもつと共に、各項目にわたつても、適切な解説がほどこされてゐること、史料が博搜されてゐる上に卷末の史料目錄に信頼が置けること、佛敎關係の記述が比較的多いことなどの點で、從來の類書に見られない特色をもつものであり、思想史に興味と關心をもつ者の見逃すことのできないものとして、一讀をお勧めする。

(太田次男)

彙 報

昭和三十三年度史學科春季見學旅行

五月二十七日、深大寺・大國魂神社・善明寺・高幡不動を見學す。一行は伊木・松本(芳)・森・河北の諸先生、志水・高橋兩先輩及び學生約三十名であつた。

第六回早慶連合史學會

早慶史學會第六回大會を昭和三十三年十一月午前十時から日吉第四校舎四十九番教室に於て開催した。研究發表者及びその題名は次の如くである。

魏書の成立とその時代

尾崎 康(慶)

平安時代中期農民の動向

―田堵を焦點として―

奥野 中彦(早)

Stephan Born ヲドイツ勞働運動

東畑 隆介(慶)

エルンスト・トレルチの政治思想について

仲手川良雄(早)

公開講演(午後二時)

明代驛遞の勞役問題

清水 泰次(早)

初代廣重の一作品を繞つて(スライド使用)

淺子勝二郎(慶)

なほ當日斯道文庫本の一部を展覽に供した。

三田史學會例會報告

第四五二回例會

昭和三十三年五月十日 於一〇一番教室 新入生歡迎會

第四五三回例會

昭和三十三年六月廿五日 於二番教室
メコン河を遡りて
カンボジャ調査談

松本 信廣氏
清水 潤三氏

第四五四回例会

昭和三十三年十月四日、於十二番教室
ヨーロッパより歸りて

淺子勝二郎氏

第四五六回例会 卒業論文發表會

一月三十一日 於三番教室

二月二日 於東機會館

國史專攻

壘社の獄及び高野長英の社中における位置と思想

朝倉 光男

伊達宗城の政治的活動の背景について

伊達 宗禮

幕末の横濱

橋中 清

平安時代の猿樂の様相

林田 至弘

我國先史時代の埋葬について

伊藤 禎二

縄文文化期の農耕存在への一考察

岩澤 正雄

江戸時代における五人組帳に見られる

勸農業についての一考察

金子 義治

伊東市の發達について

北岡 貴人

阿國のかぶき踊—日本舞踊の流れの中に見る

阿國歌舞伎の位置

牧江 保

熊野信仰と熊野詣について

宮井 健吉

江川垣庵

野田 晴好

藤原道長の淨土教とそこに底流する怨靈思想

大島 清

明治初期における莊内地方のワッパ事件について

佐藤 弘

近世城下町の研究

佐藤 弘三

三浦大介義明とその影響

笹子 昭夫

神武天皇

瀬川 和吉

日本布教をめぐる耶蘇會と

フランシスコ會との對立について

高瀬弘一郎

天忠組大和五条の拳兵

豊場 建

東大寺寫經所における勞働位置

塚本 悠策

日本人形の發生と變遷

—特に岩槻への傳播を中心として—

田中 保男

奈良時代の僧房について

—元興寺を中心として—

藤田ゆきえ

徳川封建社會崩壞過程の一考察

林 秀茂

幕末漂民考

平山 裕

縄文文化における配石遺構の本質と文化交流

—上代人と石—

井上 正紹

生類憐愍令に關する一考察

葛生 進康

岐阜縣長良川の鵜飼の歴史

川島 圭三

ペリーの渡來に關する一考察

萱生 幸弘

福澤における民權と國權の問題

鬼頭 康之

キリスト教禮拜音樂—ミサ合唱樂について—

岸本 八也

條約改正

講井 武

天保の改革と藩政改革

森口 豊

元祿時代の政治—生類憐の令と

中山 博史

貨幣改鑄について—

荻田 正弘

徳川幕府における鎖國

大沼 光靖

初期日本寫眞史

大谷 欽也

北海道開拓史における屯田兵

長 祥隆

廢佛毀釋の原因についての一考察

菅野 益男

—特にその經濟的原因について—

立原 定治

享保期における儉約令について

建部 修

大日本史と義公

友田城太郎

薩長同盟の成立過程

高橋 且

白河結城氏に關する二三の考察

山本 幸雄

南蠻文化—豊後府内の總合病院と

南蠻醫學の傳承について—

近世における富士川舟運の發達

スエズ運河國有化問題に關する政治的經濟的考察

—

アメリカ南部農業と奴隸性

—

ビスマルクの同盟協商政策

—

フルーリー外交政策

—

映畫企業と資本主義の問題

—

イギリスに於ける未成年労働

—

シエファースンの駐佛公使時代のフランス

—

(一七八四—一七八九)の政情に對する彼の見解

—

シオニズムの思想とその運動について

—

獨占資本主義消長—第二次世界大戰前後

—

英國木綿工業がランカシアに集中した原因について

芦澤雄一郎

藤野 正

島山 博明

石澤 明子

川野 泰彦

影林 優治

河原 弘文

木呂子 昭

岸波 信失

駒崎 喜重

國俊 正道

松村 明子

三村雄次郎

森山 顯

二見 一啓

三田 良治

室谷 昭雄

中村 勤

西洋史專政

南北戦争に於けるリンカーンと奴隸問題

西村 光生

英國の産業革命期に於ける交通の發達

野崎 博多

一八八〇年～一八八一年に於ける

ヨーロッパ協商とビスマルク

小野 喜義

ナチス發展の原因について

——ドイツ國內の情勢の悪化、ヒットラーの政治的能力

岡 吉信

フランス革命を背景とした僞アシニアの研究

鬼塚 彩子

ロベスピエールと最高存在の信仰

大村 道夫

クローリー・マナーにみる農民層分解過程の一考察

清水 冷子

フロンティア學說——特に安全弁説について

末永多恵子

アメリカ國內交通改善の必要とその原因・影響

鈴木 盛雄

黒人奴隸制をめぐる起つたアメリカの内情

館野 勝

二月革命とその社會的背景について

渡邊 信之

第二次インクローシヤが英國の社會構造に及ぼした影響

山岸 信子

「カスリン二世」——特ニ一人ノ女性トシテ——

山口 裕吉

英國産業革命における工場制成立と

社會的經濟的諸背景について

横山 孝雄

東洋史專攻

雲南に於ける Dong-Son 文化の位置

近森 正

清代の對外關係

——特に英國との關係を中心にして

窪田 弘之